中学校１年　英語　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別			領域別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
＋10％ より高い	1	1	1	0	1	2	3
±10％ の範囲内	1	8	4	5	5	3	１３
－10％ より低い	2	2	0	2	0	2	4
計	4	１１	5	7	6	7	２０

（２）考察

①　全体について

ア　「知識・理解」の学習状況は、おおむね良好である。

イ　「表現の能力」及び「理解の能力」においては、良好であるとはいえない。特に、「表現の能力」では「正確な筆記」に、「理解の能力」では「適切な聞き取り」に課題が見られる。

②　成果

ア　日常の指導により、「読むこと」の学習状況は良好である。

イ　「１日１文３単語」運動への取り組みや繰り返し指導等により、「書くこと」に対する意識が高まり、特に、内容を整理し、必要な分量を書く力が身に付いている。

③　課題

ア　「聞くこと」の中で、聞いた内容について大切な部分を聞き取る力や、質問や依頼などに対して適切に応じる力が十分身に付いていない。

イ　「書くこと」の中で、文法に従って正しく書く力が十分身に付いていない。

（３）今後の指導

ア　質問や依頼などを聞いて、適切に応じる力を付けるための指導の工夫が必要である。

・質問の内容を理解し、適切に答える言語活動を繰り返し行う。さらに、Do(Does) や be 動詞を確実に使い分けて答えさせることが大切である。

・問い掛けに対して、単に Yes や No を使って答えるだけではなく、小学校外国語活動で体験した学習内容との接続に配慮し、言語のみならず、ジェスチャーなどを取り入れたコミュニケーション活動を意識する。

・場面の設定に工夫をしながら幅広く言語活動を行うようにする。その際、場面や状況によっては、相手の意向をくんで実際に動作に移したりするなど、適切に応じる指導を充実させる。

イ　文法事項について、日常の学習活動の中で言語活動と関連付けて定着を図るような指導の工夫が必要である。

・実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動と言語材料について理解したり練習したりする活動をバランスよく行う。

・「聞くこと」「話すこと」など音声によるコミュニケーション活動を行うとともに、他の領域（特に「書くこと」）とのバランスを図った指導を工夫する。

・「知識・理解」の更なる定着のために、特に「書くこと」においては、発音と綴りとを関連付けて指導する必要がある。また、「１日１文３単語」運動を引き続き推進し、短時間でも英語に触れる時間を日々設ける。

※実際の指導例：(7

質問や依頼などを聞いて、適切に応じる言語活動（ペア活動など）を行う。

例えば、

①　Do(Does) や be動詞などを聞き分けながら、質問の内容を聞き取る。

②　①の質問に対して、do(does) や be動詞などを使い分けながら、正確に答える。

③　話し手の意図を推測しながら聞き、

＊ジェスチャーを使って反応するなどして、適切に答える。
A: Do you have a watch?
B: No, I don't.　Look!（教室の時計を指さして）It's ten thirty.

「話し手は、時刻を知りたいんだな」

＊実際に動作に移して反応するなどして、適切に答える。
A: Do you have a pen?
B: Oh, yes.（実際に自分のペンを差し出して）Here you are.

「話し手は、ペンを貸してほしいんだな」

④　質問文や答えの文を正確に書く。

＊日々の授業の中で、既習事項を繰り返し学習する手立てを工夫する。また、学習段階に応じて、A: Oh, it's too hot today. に対して、B: OK. I'll open the window. と言って、実際に窓を開けてあげるというような言語活動に発展させたい。